

各 位

会 社 名 西本Wismettacホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 金井 孝行
 (コード番号：9260 東証市場第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 木村 敦彦
 (TEL. 03-6870-2015)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期連結業績予想の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月14日公表)	193,000	6,000	6,052	4,337	302円20銭
今回修正予想(B)	183,000	4,500	4,618	3,227	224円89銭
増減額(B-A)	△10,000	△1,500	△1,434	△1,110	
増減率(%)	△5.2	△25.0	△23.7	△25.6	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期 連結)	182,220	6,703	6,569	4,624	322円18銭

(注) 2019年12月期第1四半期より、当社の国内連結子会社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更し、遡及適用を行ったため、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 修正の理由

売上高については、アジア食グローバル事業において、米国での採算確保を念頭に取組んだこと、また農水産商社事業における青果商材の販売苦戦により、予想を下回る見通しです。

利益面については、前述の売上高の減少に加え、アジア食グローバル事業において、米国での中国からの輸入品に対する追加関税の引き上げ及びナショナルブランド商品の値上げに伴う原価上昇、人件費・物流費の高止まり、英国における販売苦戦（為替変動による通貨安に伴い仕入原価が上昇し利益を圧迫）、農水産商社事業での原価上昇等が影響いたしました。また、事業構造改革及び業態変革に向けて一部先行して計上した費用もございました。結果として、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、予想を下回る見通しとなりました。

なお、通期の想定為替相場は前回予想110円/米ドルから109円/米ドルに修正しております。

3. 配当予想について

2019年12月期の期末配当予想につきましては、1株当たり55円（通期では95円）の従来予想から変更はありません。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以上